

重要文化財 旧東慶寺仏殿

保存修理事業

旧東慶寺仏殿では現在、保存修理のための工事をしています。茅葺屋根・こけら葺屋根の劣化が著しいことに加え、建物本体に歪みや破損もあるため、半解体修理を実施します。貴重な文化財を守り続けるための、大規模な長期事業です。

大規模工事
第2弾！



We are working on the construction of Buddhist Sanctum of Former Tokeiji Temple. This building is distorted or damaged, and its roof is deteriorated. So we are dismantling the part of it, repairing the distortion or damage and reroofing of thatched roof and thin board roof. It will be a long construction to keep protecting this important cultural property.

修理前の状況



茅葺屋根・こけら葺屋根は、特に背面・側面の傷みが著しい状況です。



平成10年に行った補強。
柱の割れ、梁のたわみを
応急的に補強しています。



負担のかかりすぎた柱が傾いてしまっています。

旧東慶寺仏殿は、寛永11(1634)年に建てられた禅宗様の仏堂です。禅宗様建築特有の重厚な上層部分に対し、支える柱や梁が繊細なため構造的に弱く、各所に負担がかかり破損や歪みにつながってしまっていました。そのため平成10(1998)年に応急処置としての補強を行いましたが、今回半解体修理を行うことでさらに精密な調査を行うことができ、またさらに進歩した技術により、より良い補強法を考える事が出来るのです。これまで三溪園で大切に守り続けられたこの大切な文化財を、これからも引き続き大事にしていくための重要な工事です。